

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

| | |
|--------|------------------------|
| 名 称 | 株式会社 学研R&C |
| 所 在 地 | 東京都大田区仲池上1-17-15学研第2ビル |
| 評価実施期間 | 平成19年10月1日～平成20年1月31日 |

2 評価対象事業者

| | | |
|-------|----------------|------------------|
| 名 称 | 浦安市立弁天保育園 | 種別： 保育所 |
| 代表者氏名 | 岩間 真佐代 | 定員（利用者人数）： 123名 |
| 所 在 地 | 千葉県浦安市弁天1-1-28 | TEL 047-316-8841 |

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

| |
|---|
| <p>◆ 特に評価の高い点</p> <p>隣の遊休地（浦安市所有）を利用した、「一時保育」や「老人施設」の事業が、ようやく次年度以降、実現の運びになりました。この事業は、福祉事業の活性化を図る意味においても重要と考え、全職員で取り組んでいます。</p> <p>当園は、非常勤職員は少ないほうですが、やがては、常勤職員だけで運営していく方向で経営努力をしています。</p> <p>また、保育内容に関して一つの特徴は、リトミック・英語・造形・体操・茶道・マナー教室など、さまざまな活動を取り入れていることでしょうか。これら専門的技能を要するものについては、外部の専門家を講師として招き実施しています。</p> <p>安全面も配慮していて、安全チェックリストを作成し、毎週、散歩道や遊具の点検を行っています。また、安全係りを決め、園内から園周辺までの安全に気を配っています。さらに「わかみや福祉会」3園共同の危機管理対策を行っています。</p> <p>指導計画の内容は、クラスの代表が集まって開く「昼会」や週1回のリーダー会で検討し、見直しを行っています。話し合いによって変更された指導計画の内容は、「クラスノート」に記録し、それをクラス職員が読むしくみになっています。必要に応じて、「昼会」はリーダー会に変更されます。</p> <p>障害児、虐待児に関しては、指導計画の内容が適切であるかどうかの見直しを常に行い、必要に応じて変更し、その内容は関係職員に周知を図っています。また、役所や公共施設関係者との連絡には担当者を決め、話し合いを密に行って漏れの無いように対応しています。</p> <p>給食は複数の栄養士が献立の作成から調理まで一貫して行っています。献立は栄養士が交替で作成しており、それぞれ特色のある献立となっています。法人内の系列保育園同士で給食会議をもち、情報交換を行っています。クラスごとに保育士が毎日検食簿を記入したり、栄養士が各保育室の食事の様子を見るなど、子どもの喫食状況の把握をし、楽しくおいしい給食提供に向けて日々努力を重ねています。</p> <p>また、食育年間計画があり、食に興味をもてるような様々な工夫をしています。戸外でお弁当を食べたり、栽培した野菜を食材に取り入れたり、クッキング保育を取り入れたりしています。さらに、毎月、行事食、郷土料理や世界の料理も取り入れています。食べ物を大事にすること、かむことの大切さを伝えたいという姿勢があり、カミカミメニューを取り入れたりしています。</p> <p>◆ 特に改善を求められる点</p> <p>当園は設立からまだ年数が浅いので、職員も忙しく、十分な時間をとって話し合う余裕がなかなかありません。それを補うために研修を重ねてきましたから、これからが充実してくるでしょう。しかし、今後は、管理者と一般職員が、より緊密に意見交換をしていくことを望みます。また、若い職員が多いので、保護者からは経験が浅く少し頼りなく見られていることが伺われます。こうした不安を取り除くために、研修を重ねて、自信をもって子どもたちに臨むことができるよう期待します。</p> <p>公共関係機関（子育て支援センター、まなびサポート、こども発達センター、こども家庭支援センターなど）を訪問したり、研修会の話し合いなどに参加して、福祉ニーズを把握するように努めています。さらに今後は、当園を利用している親の意向や乳幼児をもつ地域の親の意向、ほかの地域ではどんなニーズがあるのか、といったことを把握する必要があります。そのためには、アンケートの実施やほかの地域への訪問など、業務に支障をきたさない範囲で、どんなことができるかみんな話し合うことを望みます。</p> <p>また、「わかみや福祉会マニュアル」は、年度始めなどに読み合わせを行い、職員からの意見や保護者から寄せられた意見・要望などを反映しながら見直しを行っていますが、今後の課題として、サービスの改善・工夫に向けた委員会の設置、サービスの標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法の整備を望みます。</p> |
|---|

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

開園5年目にして初めて第三者評価を受け、利用者の気持ちや自園のまだ力不足の点など知る良い機会となりました。
保護者の方が考えていること、改善しなくてはいけないことを真摯に受け止めて、これからの保育園運営に反映させて参ります。
職員の研修に今まで以上に力を注ぎ、質の向上に努め、より保護者に信頼していただけるよう全力を注ぎます。これからの保育はもちろんのこと、施設利用（地域社会）の受け入れの安全性を高め、公共機関からの情報収集に努め、利用、連携を取り合って参ります。職員の経験数等を補えるよう、指導すると共に、法人との話し合いを密に取り合い、改善致致します。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

居・食・住の大切さを考えながら、保育園を一つの家庭と考え、生きていく環境に相応しい場所として今後も提供していきます。
今後も子どもの五感に触れ、無理のないカリキュラムで取り組み、利用者も子どもも、そして職員も笑顔で送れるように最善の努力をしています。特に「食」に関しては自信を持って取り組んでいます。そして「あいさつ」を大切にしています。
浦安で「弁天保育園ここにあり」といわれるように、頑張って参ります。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

| 大項目 | 分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点） |
|-------------------------|--|
| I 福祉サービスの基本方針と組織 | <p>公設民営の保育園として、母体の社会福祉法人の「わかみや福祉会」の経営方針のもとに運営されています。今後の社会状況を予測すると公設の民営化はますます促進されていくだろうと予測し、着実に福祉事業の拡大をしていく計画を立てています。当保育園はこの「わかみや福祉会」の考えのもとに、地域密着型の福祉施設を目指しています。</p> <p>具体的な直近の計画として、当施設の隣にある浦安市所有の遊休地に、地域子育て支援を兼ねて「一時保育」の実施を、また、地域交流の場として「老人施設」をと市に再三提案してきて、それが次年度以降実現の運びになっています。このように福祉事業の活性化を組織をあげて取り組んでいます。</p> |
| II 組織の運営管理 | <p>保育園の運営がスムーズにはこんでいくためには、職員一人ひとりが与えられた役割を十分にこなしていくことと子どもたちが楽しく過ごしながら育ちをサポートしていく保育力が必要です。そのためには組織の中の役割分担と全員の研修が大事と考えています。一人ひとりの職員が与えられた役割を積極的に遂行していくとともに、年度はじめに年間の研修計画を立て、全職員が参加するシステムをとっています。研修参加の基準は職員の経験年数や能力、年齢などを考慮して園長や主任が話し合っ決めてますが、もちろん、本人の希望も考慮しています。1年間にわたる長い継続研修も職員に参加させています。</p> <p>また、研修参加は同じような環境にある他園の職員との交流を通して、同じような悩みや思いを共有してこくことも大切であると考えています。</p> |
| III 適切な福祉サービスの実施 | <p>毎年度初めに、職員はプライバシーの保護、個人情報保護に関する誓約書を提出しています。また、「全国保育士会倫理綱領ガイドブック」を全員に配布し周知を図っています。しかし、全職員を対象とした、プライバシーの保護に関する研修は行っていません。今後の課題として、全職員を対象とした研修を行うとともに、研修実施記録も残すよう望みます。</p> <p>年間の行事ことや年度末に保護者アンケートを実施して、意見や要望の把握に努めています。アンケートの集計結果は、全職員に回覧し利用者満足の上昇に役立っています。保護者は比較的コミュニケーションの苦手な方が多いので、「フラワーアレンジメントの会」や「クローバーカフェ」（保護者の集い）などを催し、意見や要望などを話しやすい雰囲気作りをしています。</p> <p>「苦情対応マニュアル」があり、この中の苦情解決の手順フローチャートに沿って迅速に対応しています。また、寄せられた意見・要望は職員会議で検討し、サービスの改善に役立っています。</p> <p>0、1歳児に関しては、その日の食事、睡眠、排泄、体温など、一人ひとりの体調をクラスのホワイトボードに記録し、一目でわかるようにしています。また、「職員連絡ノート」や「クラスノート」にも記録しています。</p> |

| 大項目 | 分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点） |
|-------------------|---|
| IV サービスの内容 | <p>看護師・栄養士・保育士が連携を取り、子ども一人ひとりの健康状態に応じて細かい配慮をしています。体調の変化にはきめ細かく対応し、小さな怪我についても保護者に確実伝え、保護者が安心できるように努めています。また、看護師が毎月身体測定の結果を成長曲線で表し、子どもの栄養状態により、栄養士が保護者に栄養指導を行っています。</p> <p>給食は複数の栄養士が献立の作成から調理まで一貫して行っています。子どもが「食」に興味をもてるようさまざまな取り組みをしています。子どもだけではなく、保護者に対しても計画的に食生活や食育について伝えています。試食は保育参観時のほかに、月に1度のクローバーカフェ（保護者の集い）でもおやつ試食を行っています。</p> <p>身近な社会とかかわれるようさまざまな取組をしています。老人福祉施設の訪問、買い物、地域のポスター貼り、図書館での貸し出しなど、子どもが地域とのかかわりを深める取組を行っています。</p> <p>園と保護者、保護者間のコミュニケーションを図るようさまざまな取組も行っていきます。懇談会、保育参観・参加のほかに、誕生会への参加や延長保育懇談会も行われています。月に1度のクローバーカフェはさまざまな企画も用意され、保護者間のコミュニケーションの場ともなっています。</p> |

| 福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果 | | | | | 評価結果 | | |
|---------------------------|------------------|---|--|--|--------------------------------------|--------------------------------|---|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 項目 | | 評価結果 | | |
| I 福祉サービスの基本方針と組織 | 1 理念・基本方針 | (1) 理念・基本方針の確立 | 1 | ①理念が明文化されている。 | a | | |
| | | | 2 | ②理念に基づく基本方針が明文化されている。 | a | | |
| | | (2) 理念・基本方針の周知 | 3 | ①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。 | a | | |
| | | | 4 | ②理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | b | | |
| | 2 計画の策定 | (1) 中・長期的なビジョンの明確化 | 5 | ①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。 | a | | |
| | | | 6 | ①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。 | a | | |
| | | (3) 計画の適正な策定 | 7 | ①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。 | b | | |
| | 3 管理者の責任とリーダーシップ | (1) 管理者のリーダーシップ | 8 | ①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。 | a | | |
| | | | 9 | ②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | a | | |
| II 組織の運営管理 | 1 経営状況の把握 | (1) 経営環境の変化等への対応 | 10 | ①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。 | a | | |
| | | | 11 | ②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。 | a | | |
| | 3 人材の確保・養成 | (1) 人事管理体制の整備 | 12 | ①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。 | a | | |
| | | | 13 | ②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。 | a | | |
| | | | 14 | ③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | a | | |
| | | | 15 | ①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。 | a | | |
| | | (2) 職員の就業への配慮 | 16 | ②福利厚生に積極的に取り組んでいる。 | b | | |
| | | | (3) 職員の質の向上への体制整備 | 17 | ①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。 | a | |
| | 18 | ②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | | a | | | |
| | 19 | ③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。 | | a | | | |
| | 20 | ①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | | a | | | |
| | 4 安全管理 | (1) 利用者の安全確保 | 21 | ②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。 | a | | |
| | | | 5 地域との交流と連携 | (1) 地域との適切な関係 | 22 | ①地域との交流・連携を図っている。 | a |
| | | | | | 23 | ②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。 | b |
| | | | | | 24 | ③事業所が有する機能を地域に還元している。 | b |
| | | | | | 25 | ④関係機関等との連携が適切に行なわれている。 | a |
| | | | | (2) 地域福祉の向上 | 26 | ①地域の福祉ニーズを把握している。 | b |
| | | | | | 27 | ②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 | a |
| | III 適切な福祉サービスの実施 | 1 利用者本位の福祉サービス | (1) 利用者尊重の明示 | 28 | ①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている。 | b | |
| | | | | 29 | ②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。 | a | |
| (2) 利用者満足の上 | | | 30 | ①利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。 | a | | |
| | | | 31 | ②利用者満足の上に向けた取り組みを行っている。 | a | | |
| (3) 利用者意見の表明 | | | 32 | ①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。 | a | | |
| | | | 33 | ②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。 | a | | |
| | | | 34 | ③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | a | | |
| | | | 2 サービスの質の確保 | (1) サービスの質の向上への取り組み | 35 | ①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 | a |
| 36 | | ②課題発見のための組織的な取り組みをしている。 | | | a | | |
| 37 | | ③常に改善すべき課題に取り組んでいる。 | | | b | | |
| (2) サービスの標準化 | | 38 | | ①職員の対応について、マニュアル等を作成している。 | a | | |
| | | 39 | | ②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 | b | | |
| | | (3) 実施サービスの記録 | | 40 | ①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。 | a | |
| 41 | | | ②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。 | a | | | |
| 3 サービスの開始・継続 | | (1) サービス提供の適切な開始 | 42 | ①施設利用に関する問合せや見学に対応している。 | a | | |
| | | | 43 | ②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。 | a | | |
| 4 サービス実施計画の策定 | | (1) 利用者へのアセスメント | 44 | ①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。 | b | | |
| | | | (2) 個別支援計画の策定 | 45 | ①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。 | a | |
| | | 46 | | ②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。 | a | | |
| | | (3) 情報の管理 | | 47 | ③個人情報保護に関する規定を公表している。 | a | |

| 福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果 | | | | | 評価結果 |
|-------------------------|------------|-------------------|----|---|------|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 項目 | | |
| IV 保育所 | 1 子どもの発達援助 | (1) 発達援助の基本 | 1 | 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 | a |
| | | | 2 | 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 | a |
| | | (2) 健康管理・食事 | 3 | 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。 | a |
| | | | 4 | 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | a |
| | | | 5 | 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。 | a |
| | | | 6 | 食事を楽しむことができる工夫をしている。 | a |
| | | | 7 | 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。 | a |
| | | | 8 | 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。 | a |
| | | | 9 | アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 | a |
| | | (3) 保育環境 | 10 | 子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。 | a |
| | | | 11 | 生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。 | a |
| | | (4) 保育内容 | 12 | 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。 | a |
| | | | 13 | 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。 | a |
| | | | 14 | 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。 | a |
| | | | 15 | 身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。 | a |
| | | | 16 | 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。 | a |
| | | | 17 | 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。 | a |
| | | | 18 | 性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。 | a |
| | | | 19 | 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。 | a |
| | | | 20 | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。 | a |
| | | | 21 | 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。 | a |
| | 2 子育て支援 | (1) 入所児童の保護者の育児支援 | 22 | 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。 | a |
| | | | 23 | 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。 | a |
| | | | 24 | こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。 | a |
| | | | 25 | 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。 | a |
| | | | 26 | 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 | a |
| | | (2) 一時保育 | 27 | 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。 | - |

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立弁天保育園

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---------------------------------|----------|----|--|
| I 福祉サービスの基本方針と組織 | 項目 番号 | | |
| I-1 理念・基本方針 | | | |
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。 | | | |
| I-1-(1)-① 理念が明文化されている。 | 1 | a | 当園は、社会福祉法人「わかみや福祉会」の運営する3つの保育園の一つで、公設民営園です。「わかみや福祉マニュアル」の中に、3園共通の理念を記載しています。 「豊かな人づくりに一体となって努力する事に喜びを得よう」を基本に、「園児は家庭の宝であり、国の宝である」をはじめ6つの項目から成っています。 |
| I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。 | 2 | a | 「この時期にたくさんの愛情を注ぎ、安心感、信頼感を確立、これから子供たちが生きていくうえで逞しく、そして大きく成長できるように、保護者と保育者が、ともに手を取り合い信頼関係を確立していきたい」ことを保育方針に掲げています。この方針のもとに、「健康で明るく友達を大切にする子」、「善悪の判断ができる子」、「自分の考えていることをはっきりといえる子」、「感性の豊かな子」という4つの保育目標を提示しています。 |
| I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。 | 3 | a | 理念や基本方針は保育の根幹をなす大切なものと考えています。そこで、理念や基本方針が載っているマニュアルからそれらを抜粋してコピーし、全職員に配布して周知を図っています。また、4つの保育目標は理念とともに事務所内に掲示してあります。 |
| I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。 | | | |
| I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | 4 | b | 理念や基本方針は入園の際や在園児のオリエンテーションのときに口頭で説明しています。保育方針や保育目標は「入園のしおり」や「園のパフレット」に記載しています。しかし、理念については記載がありません。 今後は、わかみや福祉会系列の3園とも、それぞれの文書の中で、理念、基本方針、目標をはっきりわかるように明示していくことを望みます。 |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---|---|----|--|
| I-2 計画の策定 | | | |
| I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | | |
| I-2-(1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 | 5 | a | <p>中・長期を展望したときに、福祉事業は段階的に公設民営化が進んでいくだろうと予測しています。従って、法人としては公設民営化の拡充を図っていくための事業計画を策定しています。</p> <p>直近の計画は、隣の遊休地(浦安市所有)に、地域子育て支援を兼ねた「一時保育」や地域交流を兼ねた「老人施設」の設立をたびたび提案してきました。それがようやく次年度以降、実現の運びになりました。この事業は、福祉事業の活性化を図る意味においても重要と考え、全職員で取り組んでいます。</p> |
| I-2-(2) 重要課題の明確化 | | | |
| I-2-(2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。 | 6 | a | <p>事業計画を達成するための課題は、事業を支える人材の確保と育成です。事業の内容は、隣の敷地の活用のほかに、未就園児の支援、延長保育の充実、保護者サポート、地域住民の相談にのることや援助などがあります。これらをこなしていくためには、職員の技能向上がどうしても必要です。そこで、職員を初期、中期、リーダーなどに分け、職員それぞれの立場での研修を行っています。また、担当制をとり、リーダーや主任が1対1で指導する態勢もとっています。</p> |
| I-2-(3) 計画が適切に策定されている。 | | | |
| I-3-(1)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。 | 7 | b | <p>基本的には、現場を重視する方針を決定しています。いろいろな課題に対しては法人の方針のもとに、職員会議などで話し合うようにしています。</p> <p>当園は設立からまだ年数が浅いので、職員も忙しく、十分な時間をとって話し合う余裕がなかなかありません。それを補うために研修を重ねてきましたから、これからは充実してくるでしょう。</p> <p>今後は、管理者と一般職員が、より緊密に意見交換をしていくことを望みます。</p> |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---|----|----|---|
| I-3 管理者の責任とリーダーシップ | | | |
| I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | | |
| I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | 8 | a | 保育者は、保育技術のほかに幅広い知識が要求される職業と考えています。ですから、保育の質を高めるためには、研修は欠かせません。市の研修会をはじめ、種々の外部研修には、全職員が参加しています。受講者は、テーマによって主任や園長が判断して使命したり、本人の積極的な参加希望を聞いたりして決めています。また、園内においては、主任による適正管理も心がけています。 |
| I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | 9 | a | 園長は、職員がスムーズに活動できて、保育の質が高まるような工夫・改善策を講じています。一例として複数担任制をとっています。新人はベテランと組ませて、技術の吸収を図るとともに、ベテランは新人教育の方法などを学んでいきます。このほか、遅番、早番の勤務の輪番なども、偏りなく職員が納得できるように注意をはらっています。また、園長は経営的観点から、子どもたちにとってより役に立つ経費の配分や使い方を工夫しています。 |
| II 組織の運営管理 | | | |
| II-1 経営状況の把握 | | | |
| II-1-(1) 経営環境の変化等への対応 | | | |
| II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | 10 | a | 管理職は社会の動静に関心をもっています。園周辺の保育状況を調べたり、一般社会で働いている人たちの意見を聞いたりするなど、できるだけ視野を広めていこうとしています。今後は、さらに事業経営という観点から、行政の福祉の動向、地域の人口動態や出生率などを具体的に把握するしくみを構築していくことを望みます。 |
| II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。 | 11 | a | 理事会や業務報告などで課題発見に努め、具体的な改善につなげるようにしています。当園は、非常勤職員は少ないほうですが、やがては、常勤職員だけで運営していく方向で経営努力をしています。このほか、保育内容に関しては、リトミック、英語、造形、体操などを取り入れています。これら専門的スキルを要するものについては、外部の専門家を講師として招き実施しています。 |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---|----|----|--|
| Ⅱ-2 人材の確保・養成 | | | |
| Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 | | | |
| Ⅱ-2-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している | 12 | a | 「全国保育士会倫理綱領ガイドブック」を用いて周知を図っています。また、「わかみや福祉マニュアル」の中に、社会人としてのマナー、保育士としてのマナーが記載されています。このマニュアルは職員全員が持っていて、随時職員会議などで読み合わせをして、認識を深めています。 |
| Ⅱ-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。 | 13 | a | わかみや福祉会3園統一の採用方針と基準があります。また、新人採用に際しては、職員からの意見も取り入れるようにしています。採用試験では、楽器演奏や実際の保育実技なども実施しています。採用の可否は、最終的に本部で行うことになっています。 |
| Ⅱ-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | 14 | a | 一人ひとりの職員が年度初めに目標を立て、前期、後期にそれがどの程度達成されたか、どこに問題があるか、などを反省する自己評価表を提出します。それについて、園長や主任との話し合いが持たれます。評価の結果も知らせ、本人が納得いくように説明しています。もちろん、主任、園長などの管理者用の自己評価もあります。 |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | | |
| Ⅱ-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。 | 15 | a | 職員会議やリーダー会議を通じて、職員の意見を聞くようにしています。例えば、障害児の保育について、どのように接したらよいか迷っているので専門家の指導を仰ぎたい、という職員の声に答えたり、パートの勤務のあり方について職員と話し合ったりしながら改善に取り組んでいます。 |
| Ⅱ-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。 | 16 | b | 園独自の青空会(会費月600円)で、茶話会、忘年会、慶弔に関する事など、福利厚生に努めています。職員の数が限られているため業務が忙しく、ゆっくり親睦会を楽しむゆとりもありません。これは、職員の数を増やさない限り解決しない問題です。 今後、法人全体の問題として取り組んでいくことが、職員の福利厚生や、意識向上につながることでしょう。 |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|--|----|----|--|
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備 | | | |
| Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | 17 | a | <p>研修は、一人ひとりの保育の質を高めていく絶好の機会である、ということを全職員が認識しています。年度初めに年間研修計画を立て、全職員が参加するようにしています。長期(半年から1年)にわたる研修も、順番を決めて受けるようにしています。今年度も、カウンセリングについての1年近くにわたる研修に参加しています。</p> <p>また、外部研修について、研修参加は保育技術の習得や質の向上もさることながら、参加している他園の保育士との交流により考え方や悩みや希望などを聞くことによって、自身を向上させるチャンスとしてとらえるように指導しています。</p> |
| Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | 18 | a | <p>職員の研修にあたっては、それぞれの能力や興味の対象、経験年数や年齢などを勘案して、希望とも突き合わせながら、園長や主任が判断して決めています。全員が必ず年に最低一度は参加するようにしています。研修後は、報告書を作成し職員会議で報告してもらいますので、ほかの職員も概要は把握しています。</p> |
| Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | 19 | a | <p>職員の活性化のためにもフレッシュな学生の雰囲気も吸収し、保育のマンネリ化を防いでいます。また、実習生を指導することによって、職員自身の向上にもつながりますので、受け入れには積極的に取り組んでいます。</p> <p>受け入れの際はオリエンテーションを行い、実習するクラスの希望についても話し合っています。</p> <p>学校からの実習依頼書の中に、実習生の守秘義務に関する誓約書が見当たりませんでした。今の時代、個人情報保護の観点からも誓約書は必要なので、今後は学校側に提出を要請しましょう。</p> |
| Ⅱ-3 安全管理 | | | |
| Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。 | | | |
| Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | 20 | a | <p>年間の避難訓練計画のもとに毎月実施しています。感染症や病気については「保健だより」や各保育室に常備されている「お知らせボード」で知らせています。また、感染症発生の場合は迅速に玄関の目立つところに掲示し、すぐわかるようにしています。</p> |
| Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。 | 21 | a | <p>安全チェックリストを作成し、毎週、散歩道や遊具の点検を行っています。そして、安全係りを決め、園内から園周辺までの安全に気を配っています。さらに「わかみや福祉会」3園共同の危機管理対策を行っています。</p> |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|--|----|----|--|
| II-4 地域との交流と連携 | | | |
| II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | | |
| II-4-(1)-①地域との交流・連携を図っている。 | 22 | a | <p>地域の0歳児をもつ親を対象に「びよびよ会」を組織し、赤ちゃん体操の仕方やお母さん同士の交流などを図っています。また、3歳未満児をもつ親を対象に「ひよこクラブ」を結成し、月に1、2度のイベントを催しています。いずれも、施設の玄関や門扉に掲示してお知らせしています。また、浦安市を通じて、公民館や子育て支援センターなどにお知らせのチラシを配布しています。</p> <p>イベントの種類によって参加人数は異なりますが定着してきています。逆に、町内会で催す行事については、もちつき会やお祭りなどに参加するようにしています。</p> |
| II-4-(1)-②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。 | 23 | b | <p>公民館や図書館を利用しています。図書館は長期間借りられるので、年何回かに分けて100冊くらいの単位で借り出しています。また、映画のフィルムも借りてきて映写会をやりました。</p> <p>今後は、施設外の社会資源には、どんなものがあるのか調査し、活用の方法や時期などを検討すると、本や映画だけでなく、植物の栽培、遊び場所や相談箇所など、活用範囲が広がり充実します。研究されることを望みます。</p> |
| II-4-(1)-③事業所が有する機能を地域に還元している。 | 24 | b | <p>虫歯や歯磨きなど、歯についての話や子どもの病気に関すること、さらには、育児相談や親子の遊び指導などを地域の親子に行っています。また、保育に関する講演も要請があれば応じています。</p> <p>隣の敷地に一時保育や老人施設を計画しているとのことですから、今後は、当保育園の保育技術や知識を広く地域に還元していくためにも、どのような技能を蓄えておいたらよいか、今のうちから組織的に考え、実行していくことをお勧めします。</p> |
| II-4-(1)-④関係機関との連携を図っている。 | 25 | a | <p>災害、特に火災は、人命にかかわることはもちろん、甚大な被害が出るとの認識をもち、日頃から消防署と連携を密にとっています。今までにも、火災時に発生する煙を体験する訓練をしています。また、当園には8台分の専用駐車場がありますが、子どもの安全と駐車車両内の盗難を防ぐためにも、定期的に警察のパトロールをお願いしています。</p> <p>このほか、障害児については、まなびサポート(市役所内にある)で継続的に指導を受けたり、虐待については、いつでも連絡相談ができたりする体制が整っています。</p> |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|-------------------------------------|--|----|---|
| Ⅱ-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。 | | | |
| Ⅱ-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。 | | 26 | <p>b</p> <p>関係機関（子育て支援センター、まなびサポート、こども発達センター、こども家庭支援センターなど）を訪問したり、研修会の話し合いなどに参加して、ニーズを把握するように努めています。</p> <p>今後は、当園を利用している親の意向や乳幼児をもつ地域の親の意向、ほかの地域ではどんなニーズがあるのか、といったことを把握する必要があります。そのためには、アンケートの実施やほかの地域への訪問など、業務に支障をきたさない範囲で、どんなことができるか話し合うことを望みます。</p> |
| Ⅱ-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 | | 27 | <p>a</p> <p>色々な活動をしています。具体的には、人形劇団を呼んでの観劇会、歯磨き指導、食事に関する講習会、お年寄りとの交流会、もちつき、中学生の職場体験などです。これらの取組については、年間目標の中にありますが、地域の福祉ニーズとの整合性などを今一度点検し、本当に望まれる活動かどうかを再確認することで、さらに地域に根ざした事業になっていくでしょう。</p> |

項目別評価結果・評価コメント

事業社名 浦安市立弁天保育園

| 評価基準 | 項目番号 | 評点 | コメント |
|---|------|----|---|
| Ⅲ 適切な福祉サービスの実施 | | | |
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | | | |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | | |
| Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている | 28 | b | <p>全職員を対象とした、プライバシーの保護に関する研修は行っていません。市が主催する園長対象の研修を受け、その内容は職員会議で伝え、周知を図っています。職員とは、守秘義務についての話し合いをもっています。新人研修の折りには、プライバシーの保護に関しても指導しています。</p> <p>今後の課題として、全職員を対象とした研修を行うとともに、研修実施記録も残すよう望みます。</p> |
| Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。 | 29 | a | <p>毎年度初めに、職員からはプライバシーの保護、個人情報保護に関する誓約書を提出してもらっています。また、「全国保育士会倫理綱領ガイドブック」を全員に配布し周知を図っています。同時に、保育士室にも倫理綱領を掲示しています。</p> |
| Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に務めている。 | | | |
| Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。 | 30 | a | <p>年間の行事ごと、年度末に保護者アンケートを実施して、意見や要望の把握に努めています。アンケートの集計結果は、全職員に回覧し利用者満足の向上に役立てています。</p> <p>保護者は比較的コミュニケーションの苦手な方が多いので、「フラワーアレンジメントの会」や「クローバーカフェ」（保護者の集い）などを月1回催し、意見や要望などを話しやすい雰囲気作りをしています。連絡ノートからもニーズを把握していますが、登園時などに職員が積極的に声を掛け、保護者の声を聞くように努めています。</p> |
| Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。 | 31 | a | <p>月ごとに組み合わせをして担当者を決め、利用者満足の向上に向け、オリエンテーションを行っています。アンケートの集計結果をはじめ、「フラワーアレンジメントの会」や「クローバーカフェ」などで得た意見や要望、連絡ノートからのニーズを分析・検討して、改善策を話し合っています。また、この集計結果や改善策は、保護者にも開示しています。これらの開示も保護者からの意見を反映したものです。</p> |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---|--|----|--|
| Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | | |
| Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。 | | 32 | <p>苦情や意見の受付担当者など、受付のしくみを説明した文書を、玄関ホールに掲示しています。また、苦情・意見はもちろん、いつでも緊急の連絡・問い合わせができるように、園長の携帯電話番号は保護者全員に知らせてあります。メールでも苦情・意見を伝えることが可能です。相談や意見が述べやすいように相談室も設けてあります。</p> <p>なお、今後、苦情受付に関して複数の相談方法や相談相手の中から自由に選べることを説明した文書を作成し、利用者に配布するとよいでしょう。</p> |
| Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。 | | 33 | <p>苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員などは設置しています。寄せられた要望やトラブルに対する検討内容や対応策は、迅速に利用者にフィードバックしています。また、苦情を申し出た利用者に配慮した上で、苦情内容やその解決結果などの文書を玄関の掲示板に貼り出しています。</p> |
| Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | | 34 | <p>「苦情対応マニュアル」があり、この中の苦情解決の手順フローチャートに沿って迅速に対応しています。意見や提案を受けた際の記録や報告も、このマニュアルに沿って行っています。また、寄せられた意見・要望は職員会議の議題にして、保育サービスの改善に役立てています。</p> |
| Ⅲ-2 サービスの質の確保 | | | |
| Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。 | | | |
| Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 | | 35 | <p>年1回実施される、市の「業績評価」「業務評価」を受審しています。市からフィードバックされた評価結果は職員に回覧し、職員会議で分析・検討しています。また、「わかみや福祉会」系列3園の園長会の場でも、評価結果をもとにサービス内容について話し合いを行っています。</p> <p>なお、第三者評価は、今回初めて受審しました。</p> |
| Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。 | | 36 | <p>職員会議で、各クラスをテーマ別のグループに分け、評価結果をもとに課題発見のための話し合いをもっています。話し合われた結果は、グループごとに職員会議で発表し、職員間で課題の共有化を図っています。</p> |
| Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。 | | 37 | <p>第三者評価を受けるにあたって、自らの課題に取り組む姿勢について職員にアンケートを行いました。その結果、全体的に問題意識の薄い傾向が見られました。そこで、改善すべき課題への取組は、まず、身近で小さなテーマから抜うことにしました。</p> |

| 評価基準 | 評点 | コメント |
|---|----|---|
| Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。 | | |
| Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。 | 38 | a 「わかみや福祉会マニュアル」を全職員が持っています。ここには、「職員の心得、きまり」をはじめとした職員の対応について、基準や手順、各種マニュアルがファイルされています。職員会議をはじめ、必要に応じて常に、このファイルを参考にして行動するように指導しています。 |
| Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 | 39 | b 「わかみや福祉会マニュアル」は、年度初めなどに読み合わせを行い、職員からの意見や保護者から寄せられた意見・要望などを反映しながら見直しを行っています。 なお、園の今後の課題として、サービスの改善・工夫に向けた委員会の設置、サービスの標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法の整備を望みます。 |
| Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。 | | |
| Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。 | 40 | a 0、1歳児に関しては、その日の食事、睡眠、排泄、体温など、一人ひとりの体調をクラスのホワイトボードに記録し、一目でわかるようになっています。また、「職員連絡ノート」や「クラスノート」にも記録しています。このほか、園児一人ひとりの日常の体調の変化に関しては、「健康観察表」「保健記録票」など一定の書式のものに記録し、記録者によって記録内容にばらつきが生じないようにしています。 |
| Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。 | 41 | a 園児の状態変化は、「職員連絡ノート」に記録し、ノートは事務所に置いてあります。職員は常に、このノートに目を通すことになっています。また、園児の午睡中を利用してクラス代表の「昼会」を行い、その内容はクラスに持ち帰って報告したり、「クラスノート」に記録したりしています。これらによって、いち早く園児の情報を知り、対応できるようになっています。また、看護師もクラスを巡回して園児の体調の変化を視診し記録するとともに、変化がある場合は担任、主任や園長に伝え、程度によっては保護者にも連絡しています。 |
| Ⅲ-3 サービスの開始・継続 | | |
| Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | | |
| Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。 | 42 | a 日時を問わず、見学者には「入園のしおり」などを渡して、案内と説明をしています。体験入所も希望があれば受け入れています。一日利用の希望も多いので、園としては実施を検討していますが、今のところこれに当てる部屋が無いので、市から現況では許可は難しいと言われてい ます。 ホームページもありますが、1ページのみという制約があるため、十分な情報を掲載できません。制約がなくなれば、充実したホームページを作成する用意はあります。 なお今後、園を紹介した資料を、公共施設など多くの方が手にできる場所に置き、利用者の便を図るように望みます。 |
| Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | 43 | a 保育内容や料金などの重要事項の説明は市の担当課が行っています。保健関連や年間行事など、園の具体的な保育サービスについては「入園のしおり」などを使って、毎年3月にオリエンテーションを行っています。オリエンテーションは、新入園児だけでなく在園児の保護者にも行います。併せて新入職員や退職職員も紹介しています。 |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---|----|----|---|
| Ⅲ-4 サービス実施計画の策定 | | | |
| Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。 | | | |
| Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。 | 44 | b | <p>利用者の課題は、月案などに明示し、全職員に周知されるよう職員会議で説明しています。障害児に関しては、園長が保護者と個別に対応しています。そのほか、保護者の教育相談にも応じています。</p> <p>なお今後、利用者一人ひとりのニーズや課題を明示するための手続きを整備するよう望みます。</p> |
| Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定 | | | |
| Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。 | 45 | a | <p>保育計画は、0・1歳児は月齢ごとに月案を、2歳児は月案を立てます。障害児は個別指導計画を立てています。月案は担当が策定し、クラスリーダーがチェックした後、主任と園長がいっしょにチェックして、担任に戻します。毎月クラス内で月案反省を行い、主任に報告します。また、9月の中間反省会と年度末反省会があり、これらの会議には全職員が参加します。反省会で出た意見や提案、アンケートから得られた保護者の意向などは、次月の月案や次年度の年間指導計画などに生かしています。</p> |
| Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。 | 46 | a | <p>指導計画の内容は、クラスの代表が集まって開く「昼会」や週1回のリーダー会で検討し、見直しを行っています。話し合いによって変更された指導計画の内容は、「クラスノート」に記録し、それをクラス職員が読むしくみになっています。必要に応じて、「昼会」はリーダー会に変更されます。</p> <p>障害児、虐待児に関しては、指導計画の内容が適切であるかどうかの見直しを常に行い、必要に応じて変更し、その内容は関係職員に周知を図っています。また、役所や公共施設関係者との連絡は担当を決め、話し合いを密に行って漏れの無いように対応しています。</p> |
| Ⅲ-4-(3) 情報の管理 | | | |
| Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。 | 47 | a | <p>個人情報保護への取組は、「わかみや福祉会マニュアル」にファイルされている「個人情報保護規程」「個人情報の含まれる書類の管理について」などのマニュアルに沿って実施しています。また、保護者には、個人情報保護に関する園の姿勢を述べた手紙を配布し、周知を図っています。さらに、保護者会からは個人情報保護の運用に関して同意を取っています。</p> |

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立弁天保育園

| 評価基準 | 項目番号 | 評点 | コメント |
|---|------|----|--|
| IV 保育所 | | | |
| IV-1 子どもの発達援助 | | | |
| IV-1-(1) 発達援助の基本 | | | |
| IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 | 1 | a | 法人作成の保育計画があり、次年度に向けた年間反省の会議で、保育計画について職員で確認をしています。保育計画は、高齢者施設訪問、近隣小学校・保育園との交流、土曜特別延長保育など地域の実態や保護者の意向を考慮して作成されています。 |
| IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 | 2 | a | 年間指導計画は中間総括、年間総括が行われ、評価・見直しがされています。中間総括は、職員が意識してきたこと、成果・問題点を明確にしています。毎月末には、クラス会議を行い評価・反省のもとに、次月の指導計画が作成されています。 月間指導計画のもとに、週案が作成され、毎週反省を行い、柔軟にプログラムの見直しをしています。 |
| IV-1-(2) 健康管理・食事 | | | |
| IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。 | 3 | a | 健康管理・衛生管理に関するマニュアルがあり、看護師を中心に保育士と連携を図り、子ども一人ひとりの健康状態に配慮して保育が行われています。 子どもの体調の変化には細かく対応し、体調悪化、怪我などについては特に留意して保護者に伝えています。必要に応じて看護師が伝えたり、小さな怪我についても確実に伝えられるよう努めています。 |
| IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | 4 | a | 健康診断、歯科検診は年2回（0歳児の健康診断は毎月）行われています。健康診断・歯科検診の結果は、「けんこうカード」に記載して伝え、必要に応じて口頭で伝えています。 毎月行われる身体測定では、成長曲線（身長と体重のバランスを数値にしたもの）を作成し、子どもの栄養状態によって栄養士が保護者に食事指導を行っています。 |
| IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。 | 5 | a | 保健年間計画が作成され、感染症対策など職員への指導が看護師より計画的に行われています。使い捨て手袋・マスクを常備しています。感染症発生時は、職員には毎日行われる会議で通達し、保護者には速やかに掲示をして伝えています。また、看護師はできる限り保護者と個別に話をするよう努めています。 |
| IV-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。 | 6 | a | 食育年間計画があり、食に興味をもてるような工夫をしています。戸外でお弁当を食べたり、栽培した野菜を食材に取り入れたり、クッキング保育を取り入れたりしています。また、毎月、行事食、郷土料理や世界の料理も取り入れています。 食べ物を大事にすること、かむことの大切さを伝えたいという姿勢があり、楽しんで食べたり、カミカミメニューを取り入れています。 |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|---|----|----|---|
| IV-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。 | 7 | a | 給食は複数の栄養士が献立の作成から調理まで一貫して行っています。献立は栄養士が交替で作成しており、それぞれ特色のある献立となっています。法人内の系列保育園同士で給食会議をもち、情報交換を行っています。クラスごとに保育士が毎日検食簿を記入したり、栄養士が各保育室の食事の様子を見たりするなど、子どもの喫食状況の把握をし、楽しくおいしい給食提供に向けて日々努力を重ねています。 |
| IV-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。 | 8 | a | 保護者に向けて、系統立てて食生活や食育について伝えていきます。「給食だより」には毎月、今月の目標が明示され、食材や朝食の大切さ、食育の話をわかりやすく伝えていきます。保育参観時に試食ができるほか、月に1度の保護者の集い（クローバーカフェ）でもおやつ試食も行っています。レシピは希望者に配布しており、「給食だより」でも紹介しています。 |
| IV-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 | 9 | a | 医師の診断書と保護者の承諾書を提出してもらい、除去食、代替食の提供を行っています。代替食については、保護者と意見交換しながら細かい対応をしています。代替食の提供にあたっては、見た目もほかの子どもの給食とあまり変わらないように配慮をし、誤食のないよう十分な対応策も取っています。 |
| IV-1-(3) 保育環境 | | | |
| IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | 10 | a | 保育室の清掃や寝具、砂場などの消毒に関するマニュアルがあり、ていねいな清掃を心がけています。時には子どもの目線に立って清掃の状況を確認しています。定期的に遊具、砂場、園庭遊具、樹木などの安全点検を行っています。 |
| IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。 | 11 | a | 保育室は食事と睡眠の空間を分ける工夫をしています。特に、低年齢のクラスは子どもが安心して過ごせる場となるよう、環境づくりに配慮しています。0歳児は、早く目覚めた子どもが保育士と1対1でかかわれる場所があるなど、ほかの子どもの眠りを妨げないよう配慮をしています。 |
| IV-1-(4) 保育内容 | | | |
| IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。 | 12 | a | 園では、「たくさんの愛情を注ぎ、安心感、信頼感を確立すること」を基本方針の一つに掲げ、保育士はまず、子どもの気持ちを受け止めることを共通認識し、どの子どもにも目を向けるようにしています。クラスでの話し合いには主任が同席し、子どもへの対応や言葉かけについて振り返りを行っています。また、法人マニュアルの中にも、子どもへの対応・言葉づかいについて明記され、折りに触れて確認をしています。 |
| IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。 | 13 | a | トイレット・トレーニングは、家庭と連携を図り、園と家庭といっしょに始めるという姿勢で子ども一人ひとりの発達に応じて無理なく進めています。園では自分でしようという子どもの気持ちを大事にしており、子どもが自分でズボンなどをはけるよう、台を置くなどの配慮をしています。園では、あいさつも大切にしており、職員が率先して子どもにも保護者にもあいさつをしています。 |
| IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。 | 14 | a | 保育室は、コーナー分けがしてあり、遊具の配置を工夫したり、子どもの発達に応じて遊具の入れ替えを行ったりしています。子どもが自由に絵を描いたり、製作したりできるように、子どもが自分で取り出せるところに様々な用具や紙を入れたワゴンを置いたり、箱などの廃品を準備したりしています。園では、リトミック・英語・造形・体操・茶道・マナー教室など、さまざまな活動を取り入れています。 |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|--|----|----|---|
| IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。 | 15 | a | <p>散歩は幼児クラスは週1回以上、3歳未満のクラスは週3、4回行っています。散歩先で拾ったどんぐりや落ち葉を使って造形活動につなげています。</p> <p>老人福祉施設の訪問、クッキングの材料の買い物、お祭りや運動会のポスター貼り、図書館で本を借りるなど、子どもが地域とのかかわりを深める取組があります。</p> |
| IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。 | 16 | a | <p>けんかの対応は、子ども同士のやりとりを見守り、その場にあった対応を行っています。</p> <p>保育士が意図的にグループ分けをして、異年齢で散歩に行ったり、外遊びを行ったりしています。また、異年齢で食事をいっしょにしたり、朝・夕もいっしょに遊んだりしています。</p> |
| IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。 | 17 | a | <p>園の保育目標の一つに「自分の考えていることをはっきりといえる子」を掲げ、保育士は自分の気持ちを自分で伝えるよう促したり、代弁をしたりしています。</p> <p>国の文化や習慣の違い、宗教上の食物については、個別対応を図っています。意思疎通が困難な外国人の保護者などには、園からの配布物にルビを振ったり、できる限り個別に声かけをしています。</p> <p>給食のメニューに外国料理も取り入れるなど、子どもたちに外国の文化を伝えるよう努めています。</p> |
| IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。 | 18 | a | <p>保育士は「男の子だから、女の子だから」という意識は持っていません。出席簿、持ち物や行事の役割などで男女の区別は行っていません。行事の役割は子どもがやりたい役を自分自身で決めています。</p> |
| IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | 19 | a | <p>0歳児室は、食事・睡眠・遊びの空間を分ける工夫がされており、ゆったりと過ごせるようにしています。</p> <p>子ども一人ひとりのリズムで睡眠・食事が取れるよう、小グループに分けて保育を行っています。</p> <p>手づくりおもちゃ、布おもちゃや木のおもちゃなど、年齢にふさわしい遊具を用意しています。</p> <p>離乳食は個別に細かい対応を行っています。担当の栄養士がおり、個別の献立表を作成し、栄養士・担任・保護者の三者で連携を図りつつ進めています。中期食は2回食を提供しています。</p> |
| IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | 20 | a | <p>延長保育は、静かに過ごせる環境設定に努めています。</p> <p>0歳児は、できるだけ0歳児だけで過ごせるようにしています。延長保育は広いホールで行いますので、遊びのコーナーを作っています。</p> <p>子どもの状況については、文書と口頭で職員の引き継ぎを適切に行っています。</p> |
| IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | 21 | a | <p>障害児は園全体で見守るという姿勢で取り組んでいます。職員会議でクラスの子どもの様子と対応方法の共有化を図っています。</p> <p>必要に応じて、こども家庭支援センター、まなびサポート、こども発達センターなどに相談したり、助言を求めたりしています。</p> |

| 評価基準 | | 評点 | コメント |
|--|----|----|--|
| IV-2 子育て支援 | | | |
| IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | | | |
| IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。 | 22 | a | 職員配置を工夫し、できる限り直接会って保護者とのコミュニケーションを図ることを大事にする姿勢があり、日常は、「連絡帳」と送迎時の会話により、保護者との情報交換に努めています。3歳児以上のクラスでは、「連絡帳」は基本的には希望があれば利用するというかたちを取っています。 個人面談は年1回行っていますが、必要に応じて随時行っています。 |
| IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。 | 23 | a | 家庭の状況や日々の状況、保護者との情報交換の内容は、必要に応じて児童票や保育日誌の特記欄に記録しています。個人面談の記録も統一した様式に記録しています。 |
| IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。 | 24 | a | 保護者とコミュニケーションや子育てについて共有を図る機会を多くもっています。 懇談会は年3回、延長保育懇談会を年1回行っています。保育参観・保育参加は年2回あるほか、随時可能となっています。誕生会には、希望する保護者は参加できます。 月に1回のクローバーカフェ（保護者の集い）は、園と保護者、保護者間のコミュニケーションの場となっています。多くの保護者に参加してもらえるよう、様々な企画を用意しています。また、0、1歳児は情報交換のための掲示板を設けています。 |
| IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。 | 25 | a | 虐待の対応については、法人作成のマニュアルの中に明示されており、職員会議の中でも共有化を図っています。職員は日頃から子どもの様子の変化に細かい配慮をしています。虐待が疑われる場合には速やかに園長まで情報が届く体制となっています。 |
| IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 | 26 | a | こども家庭支援センター、児童相談所、福祉保健センターなどの公共関係機関と相談、連携が取れる体制があり、連絡先も明記しています。 |
| IV-2-(2) 一時保育 | | | |
| IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。 | 27 | 0 | 0 |